

委員会などの開催状況

一人当たり国保料は昨年度と同水準に

福祉環境委員会 7月27日

27年度国民健康保険料

27年度国民健康保険料率の算定について説明を受けました。
主な質疑は次のとおりです。

【問】 27年度保険料率算定の考え方は。

【答】 できるだけ被保険者の負担増を招かないように、国保会計から繰越金を充当し、26年度一人当たり平均保険料とほぼ同水準とした。

【問】 来年度以降の国保財政収支と保険料の見込みは。

【答】 国保財政は厳しい状況が続くと予想され、保険料が上がる可能性があると考えている。

【問】 一般会計からの繰り入れを増やす考えは。

【答】 法で定められた以外の繰り入れは、本来望ましくないので、まずは繰越金や基金を活用する考えが必要である。

その他に開催された委員会

- 7月 31日 政策課題調査特別委員会
第6次総合計画策定について
- 8月 26日 政策課題調査特別委員会
第6次総合計画策定について
- 9月 9日 福祉環境委員会
地域密着型サービス事業者の公募結果について
- 9月 10日 市民文教委員会
地域公共交通会議の検討状況について

陳情

陳情第6号 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情

陳情者代表 荒島 園代

結果 陳情第6号は、市民文教委員会において、趣旨採択と決定。

陳情第7号 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者代表 荒島 園代

陳情第8号 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者代表 荒島 園代

結果 陳情第7号及び第8号は、各派交渉会において「聞きおく」と決定。

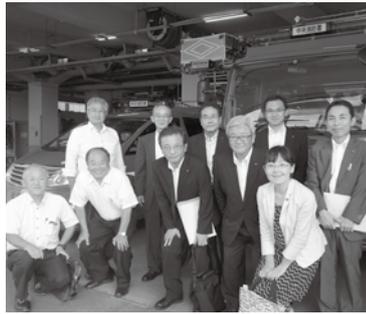
※国や県に対して意見書の提出を求める陳情は、申し合わせにより「聞きおく」としています。

※「聞きおく」とされた陳情は、全議員にその写しを配布し、各会派が陳情内容により意見書や決議の発議が必要と判断した場合は、定例会の中日の前日までに案を添えて議長に申し出ることになっています。

今期定例会において、申し出はありませんでした。

常任委員会の行政視察報告

総務委員会



松山市消防局にて

- 7月14日 愛媛県松山市 消防団の活性化
- 7月15日 兵庫県西宮市 公共施設マネジメントの取り組み
- 7月16日 大阪府貝塚市 業務改善運動(ATTACK運動)

松山市の消防団員は、わずかずつですが増加しています。消防団員協力事業所制度や、詰所倉庫のシャッターに小、中、高校生のデザインを採用するなど、消防団に対する親近感が強いと感じられました。女性や大学生の団員もいるなど、住民へのPR活動は大変参考になるものでした。

福祉環境委員会



橿原市子ども総合支援センター
会議室にて

- 7月14日 広島県尾道市 地域包括ケアシステム
- 7月15日 奈良県橿原市 子ども総合支援センター

橿原市では、子どもの発達の様子が気になる段階から、健やかな成長を目指して、子どもと保護者を早期から支援するため、子ども総合支援センターを開設しています。そこでは、発達相談や教育相談、保護者同士の交流促進などを行っています。それらの施策は大変参考になりました。

市民文教委員会



志木小学校にて

- 7月28日 東京都中央区 教育施設のファシリティマネジメント
- 7月29日 新潟県十日町市 同上
- 7月30日 埼玉県志木市 同上

上記の区及び市では、小中学校とその他の施設(保育園、特別養護老人ホーム、図書館等)が1つの建物の中に共存し、交流を通じてお互いに良い影響を与え合いながら運営している事例があります。本市の教育施設の適正配置を考えていく上で、それらの手法は大変参考になりました。

産業建設委員会



倉敷市役所会議室にて

- 7月6日 山口県下関市 得々しものせき
- 7月7日 鹿児島県
南九州市 知覧武家屋敷の文化財保存と
観光振興における活用
知覧特攻平和会館
- 7月8日 岡山県倉敷市 社会資本総合整備計画

倉敷市は、第6次総合計画で下水道を「安心と安らぎのある清潔で快適な生活環境の確保を図る」施策に位置付けており、「快適な生活」「安全、安心な生活環境」「環境への寄与」を基本方針とする第11次下水道整備五箇年計画(平成23年～平成27年)は、大変参考になるものでした。